

中津川市リニアを活用した まちづくり構想（案）【抜粋】



中津川市

「中津川市リニアのまちづくりビジョン」の実現に向けて

「中津川市リニアのまちづくりビジョン」
(目標年次を2050年とした長期ビジョン、H25年8月策定)

「中津川市総合計画基本構想」
(リニア開業前年度の2026年までの12年間の指針、H26年3月策定)

「中津川市総合計画中期事業実施計画」
(計画期間:H31(2019)~R4(2022)年、H30年10月策定)

リニア開業を見据え、
今、特に重点をおいて取り組むべき課題を抽出

- リニア駅周辺のまちづくり
- 中心市街地の活性化
- 市域全体をつなぐ観光振興

具体的戦略、事業を本格的に進めるため、
「まちづくり構想」をまとめる

中津川市リニアを活用したまちづくり構想（案） H30.12提案

点から線、圏域への広がり
地域文化・観光資源の拠点づくり

リニア駅

「岐阜県の東玄関口」
○観光中核センター整備

観光地域

「地域資源の魅力向上と広域連携・周遊」
○観光振興施設等整備

中心市街地

「歴史文化資源を活用したまちの中核機能」
○町並みの計画的整備

中心市街地内周遊のイメージ



(仮称)「まちの駅なかつがわ」複合施設の機能イメージ

市民の交流と回遊の拠点となる にぎわい施設

子育て支援

より安心して子どもを育てられる環境を整えるため、親子の交流を図る空間を創出するとともに、女性活躍を促進させるサービス機能を充実。

【主な機能 子育て支援センター、遊びの広場、児童図書コーナー】



観光

市民や観光客が気楽に立ち寄れるカフェやショップなどの安らげる空間と中津川市の魅力を紹介する観光案内機能などを整備し、市内回遊を促進。

【主な機能 カフェ・ショップ、観光案内】



(仮称) まちの駅 なかつがわ

市民交流

生活に密着した様々な情報等の閲覧、市民サービスの窓口、市民の多目的な活動に対応する空間を創出し、市民の交流の活性化を促進。

【主な機能 展示・イベントスペース、会議、ワークショップ、地域活動】



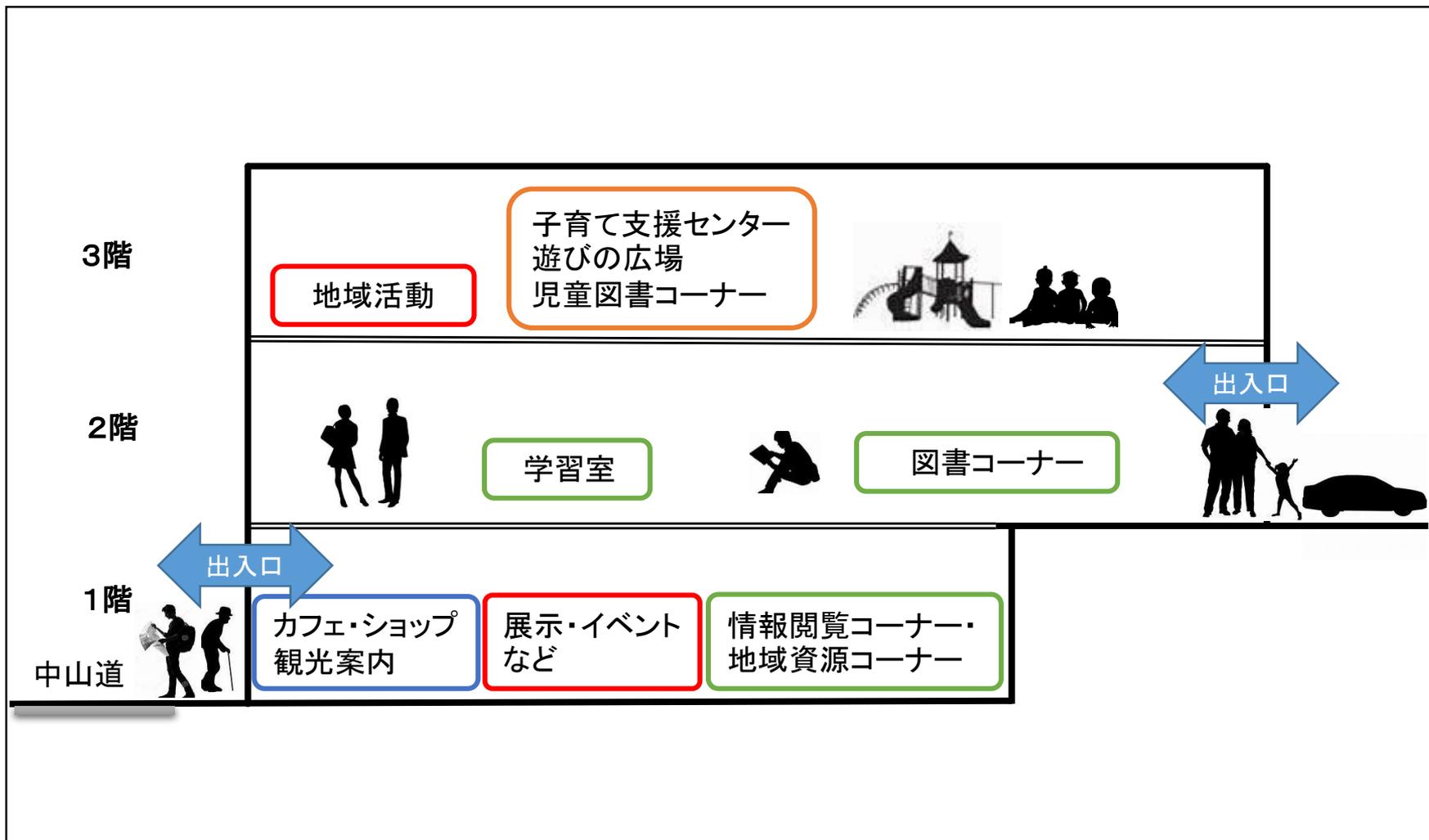
学び

幼児、学生から高齢者まで幅広い世代が気軽に集まれ、知識の習得や郷土の歴史文化が感じ取れる特色ある空間を創出し、生涯を通じた学びを支援。

【主な機能 学習室、図書コーナー、情報閲覧コーナー、地域資源コーナー】



(仮称)「まちの駅なかつがわ」複合施設の各階イメージ



■外観は、茶色・黒・白を基調とした町家風をイメージ

中津川市リニアを活用した まちづくりにかかる提言書（抜粋）

◎中心市街地の活性化について

- 機能の複合化を図ることで多様なサービスを提供し、子どもから高齢者、障がい者など多くの市民が日常的に利用できるような、にぎわい創出の核となり、交流や活動、学びの拠点施設「(仮称)まちの駅なかつがわ」の整備を図ること。
- 拠点施設には、観光客などの市外からの来訪者が市内を回遊する仕組みづくりに向けて、市内各地の観光・イベント、歴史・文化などに触れることができる機能を備え、情報発信を図ること。
- 拠点施設の整備にあたっては、老朽化し手狭となった現在の中央図書館の拡張移転を踏まえ検討するとともに、集客力と特色のある学びの拠点にふさわしい規模や図書機能についてよく検討すること。
- 拠点施設を含め中心市街地の整備にあたっては、市民と一体となって、飲食、宿泊施設の充実など快適性や回遊性を高めるとともに、中津川らしさが感じられるまちづくりに向けて検討を進めること。